



マブチグループ 社会・環境報告書 2019

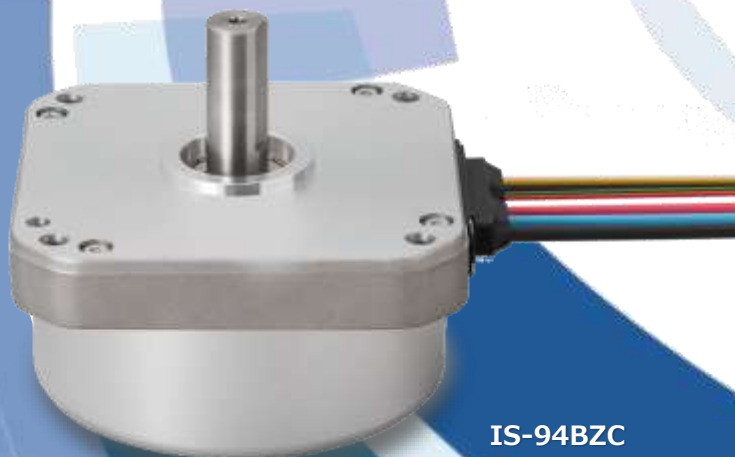
Actuating Your Dreams



ID-659ZA



IS-92BZC



IS-94BZC

マブチグループ 社会・環境報告書 2019

CONTENTS

会社概要	2
CEO MESSAGE	3
社会・環境に配慮した企業活動	5
コーポレートガバナンス	8
コンプライアンス	9
リスクマネジメント	10
地域支援活動	12
ものづくり・教育に対する支援活動	13
働きがいのある職場づくり	15
環境マネジメント	17
グリーン調達	18
環境コミュニケーション	19

編集にあたって

マブチグループは、本報告書を通して、企業市民としての社会的責任を果たす姿勢や状況についてご説明し、すべてのステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを更に充実させて、より良い今後の活動を目指してまいります。

なお、環境配慮の観点から、印刷物ではなく、電子化（PDF）した報告書をホームページに掲載しております。

対象期間：2018年1月1日～2018年12月31日（期間外の場合は別途日付を記載）

対象範囲：モーターの設計、生産、販売、及びサービスの提供に関わる社会的な取り組みと環境活動の内容

対象組織：マブチグループ

日本

マブチモーター株式会社（本社）

北・中南米

MABUCHI MOTOR AMERICA CORP.（アメリカマブチ）

MABUCHI MOTOR MEXICO S.A. DE C.V.（メキシコマブチ）

欧州

MABUCHI MOTOR (EUROPE) GmbH（ヨーロッパマブチ）

MABUCHI MOTOR POLAND sp. z o. o.（ポーランドマブチ）

アジアパシフィック

華淵電機工業股份有限公司（台湾マブチ）

萬寶至馬達股份有限公司（高雄マブチ）

MABUCHI MOTOR VIETNAM LTD.（ベトナムマブチ）

MABUCHI MOTOR DANANG LTD.（ダナンマブチ）

MABUCHI MOTOR (SINGAPORE) PTE. LTD.（シンガポールマブチ）

MABUCHI MOTOR KOREA CO., LTD.（韓国マブチ）

MABUCHI MOTOR THAILAND CO., LTD.（タイマブチ）

中国・香港

萬寶至實業有限公司（香港マブチ）

万宝至馬達（東莞）有限公司（東莞マブチ）

万宝至精工（東莞）有限公司（路東マブチ）

東莞道ジャオ万宝至馬達有限公司（道ジャオマブチ）

万宝至馬達（江西）有限公司（江西マブチ）

万宝至馬達大連有限公司（大連マブチ）

万宝至馬達瓦房店有限公司（瓦房店マブチ）

万宝至馬達（江蘇）有限公司（江蘇マブチ）

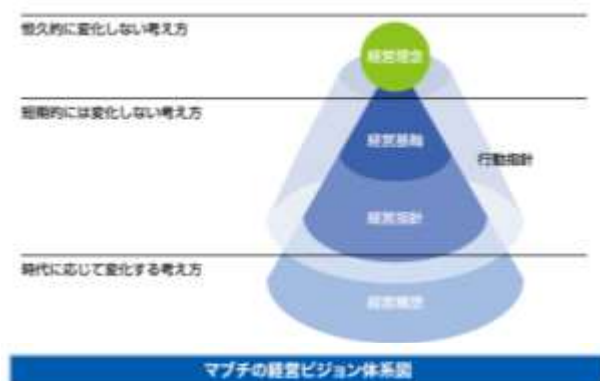
万宝至馬達（上海）有限公司（上海マブチ）

万宝至馬達貿易（深圳）有限公司（深圳マブチ）

経営理念 国際社会への貢献とその継続的拡大

経営基軸

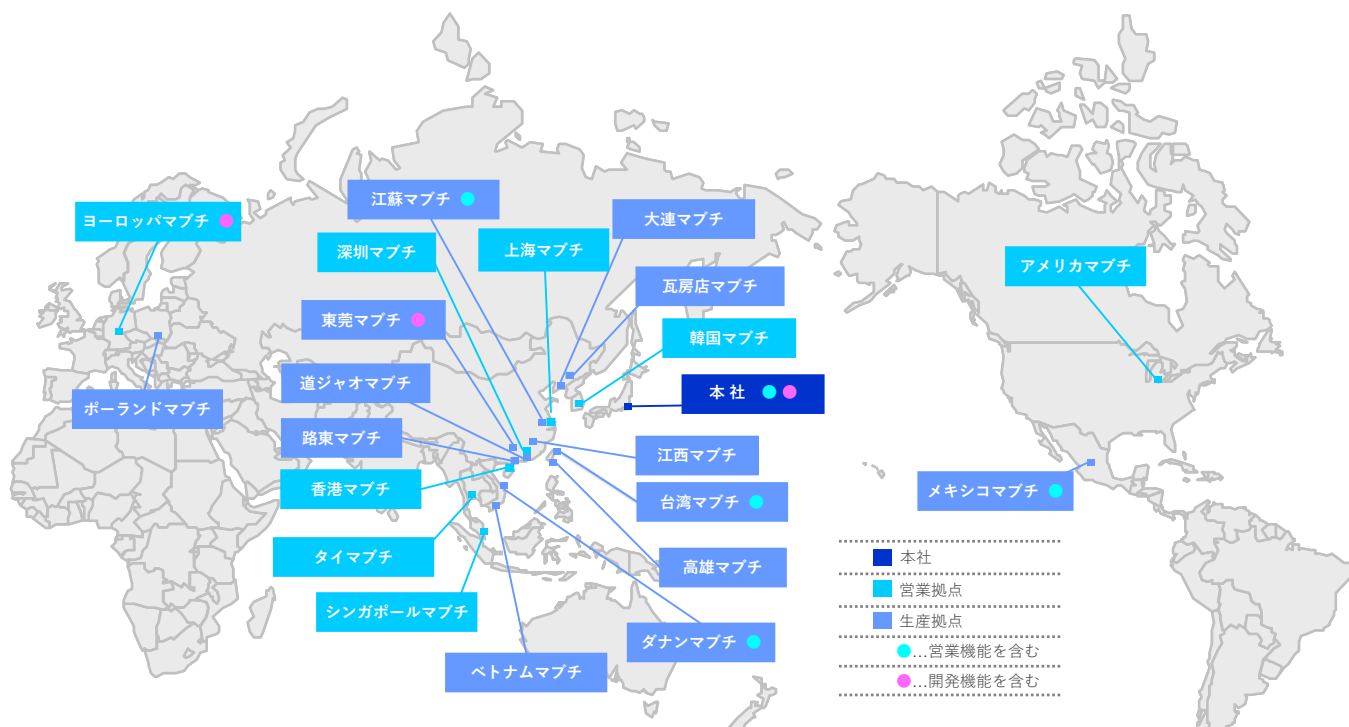
1. より良い製品をより安く供給することにより、豊かな社会と人々の快適な生活の実現に寄与する
2. 広く諸外国において雇用機会の提供と技術移転を行い、それらの国の経済発展と国際的な経済格差の平準化に貢献する
3. 人を最も重要な経営資源と位置づけ、仕事を通じて人を活かし、社会に役立つ人を育てる
4. 地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行う



会社概要

商号	マブチモーター株式会社 MABUCHI MOTOR CO.,LTD.
創立年月日	1954年1月18日
事業内容	小型モーターの製造販売
資本金	207億481万円
代表者	代表取締役社長CEO 大越博雄
従業員数	本社：824名 グループ：23,476名 (2018年12月末現在)

連結業績	売上高	1,431億1千6百万円
	営業利益	212億4千3百万円
	当期純利益	229億2千5百万円
		(2018年12月期)
所在地(本社)	〒270-2280 千葉県松戸市松飛台430番地	
	TEL：047-710-1111 (代表)	
(技術研究所)	〒270-2293 千葉県印西市竜腹寺280番地	
	TEL：047-710-1222 (代表)	



事業を通して持続可能な社会づくりに貢献する

マブチモーターは、1954年、世の中の子供たちが安全に楽しむことができる良質で安価な動力をつくりたいとの思いを胸に誕生しました。その後の技術革新やグローバル化の進展に合わせて市場も大きく変わり、現在では自動車電装機器用途向けが売上の7割以上を占めるようになっていました。

創立65周年を迎えても、専門メーカーとしての使命は、より良い製品をより安く安定的に提供し、人々の暮らしを便利に・快適に・安全にするお手伝いをするに変わりはありません。

モーターの可能性を徹底的に追求し、その価値を磨き上げて、お客様の製品の小型・軽量化や省電力化を支えることで、社会全体の省資源・省エネルギー化に貢献してまいります。

国連加盟193カ国が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）の実現に向けて、私たちは、課題を認識するだけでなく、その課題を解決するための価値創造をしていかななくてはなりません。この価値創造は、マブチグループのすべての活動を貫く根本的な考え方である経営理念『国際社会への貢献とその継続的拡大』の実践そのものです。

私たちが捉える国際社会への貢献とは、現地に根ざしてその国・地域の皆様とともに、技術を磨き、人材育成を行い、経済発展により、地域社会に貢献する「真のグローバル化」です。

マブチグループ全社員が、「企業は社会に貢献するため、人々の幸せに寄与するために存在する」という利他の心で、日々の活動に取り組んでいます。



代表取締役社長 CEO

大越 博雄

マブチグループは、徹底した「標準化」により、お客様のご要望の最大公約数的なモーターを開発することで高品質と低価格の両立を図ってきました。共通化された部材を世界中のお客様の近くで現地調達し、自動化技術を駆使した設備で生産販売する「地産地消」により、どこへでも同じ高品質のモーターを提供できる「グローバル標準化戦略」が私たちの強みです。

1964年の香港マブチ設立を皮切りに、中国、台湾、ベトナム、メキシコ、そしてポーランドと、グローバルな生産・供給体制の構築を積極的に推進してきました。この取り組みを更に高いステージへと進め、世界規模でより一層の社会貢献を実現してまいります。

合わせて、モーターを通じた教育支援活動も継続的に行っています。工作教室や出前授業の中

で、モーターを動かして楽しそうに目を輝かせる子供たちや、ロボットコンテストにて創意工夫を凝らしている学生たち。彼らの今後の成長が私たちの大きな喜びとなっています。社会を創造する主役は人であり、特に次世代の技術者の育成は、国際社会にとって益々重要な課題となるでしょう。当社モーターと技術、そして「ものづくり」を体験する活動を通して、未来を担う人々の育成に貢献できるよう、今後も継続して取り組んでまいります。

マブチグループは、不変の経営理念のもと、事業を通して、様々なステークホルダーの皆様とともに、課題解決に向けた活動を積極的に継続してまいります。今後も、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



マブチグループは、年間生産数量約15億個の世界No.1ブランドとして、環境に配慮した高性能・低価格・フレキシブルな生産供給を実現し、広範囲なフィールドの用途で活躍しています。

社会・環境に配慮した企業活動

マプチグループは、SDGs（持続可能な開発目標）は人を大切にしながら、経済的にも成長できるものであると捉え、目標達成の実現に向けて社会・環境への積極的な取り組みを進めております。

SDGs（持続可能な開発目標）

2015年9月、国連総会で193カ国が全会一致で採択されたSDGsは、2030年までに達成を目指す17の目標と各目標を達成する169のターゲットがあります。企業も含めたすべての国とすべての人による行動が求められています。



企業活動における環境配慮

■省電力化の取り組み

社内照明のLED化、エアコンの設定温度管理の徹底、夏季の給湯や便座ヒーターの利用停止などにより、全社的な省電力化に取り組んでいます。こうした電気使用状況について、総務部門が確認し、社内イントラネットや工場内に掲示して節電意識の向上に努めています。



照明のLED化を推進（本社食堂）



全面的にLED照明を採用（ポーランドマプチ）

■従業員用宿舍の利便性と省エネルギーの向上

瓦房店マプチでは、宿舍内に新たにシャワー室を設置しました。このシャワー室の新熱水システムは排水（温水）熱を再利用することにより、使用電力を抑制しています。



熱水タンク循環ユニット

■生産設備導入における取り組み

マプチグループは、生産工程において、常に環境に配慮した取り組みを行っています。例えば、生産設備製造時には以下のような多面的な環境影響評価を行い、生産設備機器の導入計画を立案しています。

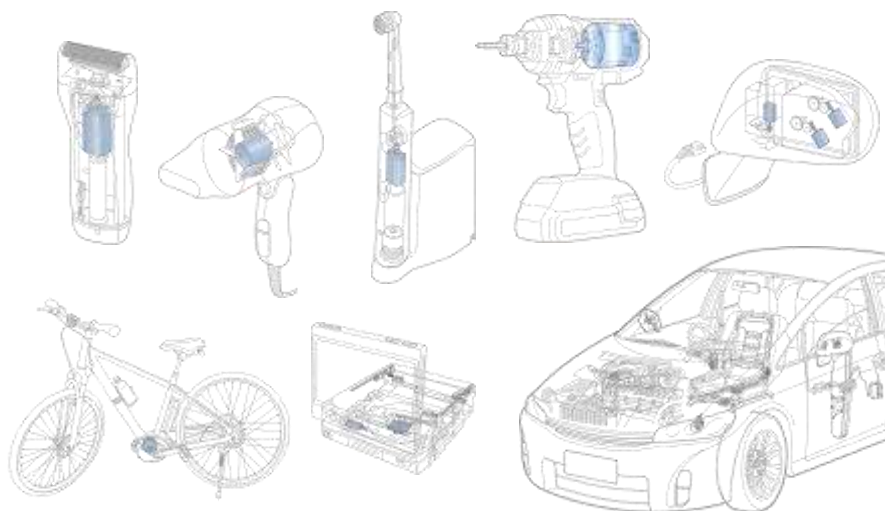
- ① 使用禁止物質の有無
 - ② 電力・エア・用水等の使用量
 - ③ 燃料消費量
 - ④ 大気汚染物質・オゾン層破壊物質・汚水の排出量
 - ⑤ 振動・騒音水準
 - ⑥ 労働安全衛生法が適用される廃棄物・有害物質の排出量
 - ⑦ 設備廃棄時における有害物質漏出の可能性の有無
 - ⑧ 有害物質回収の指示・説明の有無
- など

環境に配慮した製品づくり

より良い製品をより安く安定的に供給し、お客様の最終製品の小型・軽量化や省電力化によって、社会全体の省資源・省エネルギー化に貢献。人々の暮らしを便利に・快適に・安全にするお手伝いをするところこそ、モーター専門メーカーの使命ととらえ、モーターの可能性を徹底的に追求し、その価値を磨き上げています。



マブチモーターは、様々な用途で、皆様の暮らしを便利に、快適に、安全にするお手伝いをしています。



新製品紹介



エンジン周辺機器用モーター RS-4G5WA



RS-4G5WA

【主な用途】

エンジン吸排気バルブ／エンジン冷却水バルブ／ターボチャージャーアクチュエーター／EGRバルブ

出 力	約2.0～33 (W)
使 用 電 圧	8～16 (V)
サ イ ズ	直径28.8～46.5 (mm)
重 量	約125 (g)

お客様の最終製品の小型・軽量化や省電力化、社会全体の省資源・省エネルギー化に貢献するため、自動車電装機器用モーターにおいても、高トルク、小型・軽量化を継続的に追求しております。

新製品RS-4G5WAは、自動車のエンジン周辺の厳しい使用環境に対応しており、各種バルブの電子制御用として燃費向上、排気中の有害物質低減などに貢献いたします。

【製品の特長】

- 1. 耐熱性を向上**
耐熱性素材を使用し、エンジン周辺の厳しい温度環境（-40℃～+150℃）に対応
- 2. 耐振動性を向上**
各部の強度を高め、正弦波振動試験*にて40G相当の振動耐久性を実現
- 3. 電気ノイズ規格に対応可能**
チョークコイルやコンデンサなどの素子を、内蔵可能な構造の採用により、電気ノイズ規格に対応
- 4. ターボチャージャーアクチュエーター等の高トルク用途に対応**
優れたトルク特性によってエンジン周辺機器製品の小型・軽量化に貢献

* 正弦波振動試験…製品に周期的な振動を与え、性能劣化や機械的弱点を判定する試験



ブラシレスモーター ID-659ZA



ID-659ZA

【主な用途】 バキュームクリーナー

新製品のブラシレスモーターID-659ZAは、近年の民生・業務機器市場における、小型・軽量、高効率化及び省電力化のニーズに対応しています。

【製品の特長】

1. 小型・軽量、高効率化を実現

IPM* 構造の採用により低振動を実現。磁気回路の最適化により、小型・軽量、高効率化を両立

2. 回転数の調整が可能な駆動回路内蔵

回転信号出力及び回転調整機能を備えた駆動回路により、多様な動作モードに対応可能

3. 高レスポンスを実現

インナーローター型の採用により、同クラスのアウターローター型モーターと比較して起動時間を約46%短縮。搭載製品の操作性の向上及び稼働時間の最大化に貢献

* IPM … Interior Permanent Magnet (インテリア・パーマネント・マグネット) の略
「磁石埋込式」

最大出力	192W (19.6V作動時)	サイズ / 重量	直径 45.0×長さ 31.1 (mm)/約135g
使用電圧	192W (19.6V作動時)	保護機能	過電流、モーターロック、温度保護



ブラシレスモーター IS-94BZC、IS-92BZC



IS-94BZC



IS-92BZC



減速機



コントローラー



駆動ユニット

【主な用途】 商業用ロボット (AMR・AGV等)、移動体、パワーアシストロボットなど

新開発のIS-94BZC及びIS-92BZCは、商業用ロボット (AMR*¹・AGV*²等) 及び移動体用のブラシレスモーターです。これらの製品を通して各種移動体用途の創出と電動化に貢献しています。

* 1 AMR … Autonomous Mobile Robot (オートノマス・モバイル・ロボット) の略「自律移動ロボット」
* 2 AGV … Automated Guided Vehicle (オートメーテッド・ガイドッド・ビークル) の略「無人搬送車」

【製品の特長】

1. 防水構造を実現

モーター特性は従来のISシリーズと同等ながら、リード線周辺部に気密性の高い防水構造を採用することで防水保証IPX4*³を実現

2. ラインナップ化を推進

幅広い用途に対応すべく、IS-94BZC(長さ=45.5mm)と部品を共有したショートタイプ「IS-92BZC」(長さ=38.5mm)を同時リリース

3. オプションの充実

・減速機：高トルクに適した遊星減速機構を採用。更にAGVなどの積載搬送走行時におけるラジアル荷重をダイレクトに保持可能

・コントローラー：ISシリーズに最適化した駆動回路を開発。小型、低電気ノイズ、防水を実現し、モーターの特性を最大限に引き出すことが可能

・駆動ユニット：車輪、ブラケット、電磁ブレーキなどを選択可能

* 3 IPX4 …あらゆる方向からの水の飛沫に対し、有害な影響がない

	IS-94BZC	IS-92BZC
代表的用途	商業用ロボット (AMR・AGV等)、移動体、パワーアシストロボットなど	
最大出力	680W (36V作動時)	450W (36V作動時)
使用電圧	24V~36V	24V~36V
サイズ	直径80.0mm(フランジ部を除く)×長さ45.5mm	直径80.0mm(フランジ部を除く)×長さ 38.5mm
重量	約830g	約650g

コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンス強化は経営に欠かせないものであると考え、コーポレートガバナンス・コードの各原則に基づき、透明性の高いガバナンス体制の構築を行っています。

基本的な考え方

マブチグループは、小型モーター事業を通じた『国際社会への貢献とその継続的拡大』を経営理念に掲げ、その実現にこそ当社の存在意義があるものと認識しています。当社のコーポレートガバナンスは、この経営理念の実現をサポートする機関設計、経営管理体制、及びそれを維持するための経営上の諸施策からなります。したがって、適切なコーポレートガバナンス体制を整備し、運用する基本的な目的は、適正利益の創出と企業価値の向上を通して、株主をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様の利益に継続的に貢献することであり、上場企業としてのコーポレートガバナンスは、次のような体制を構築、維持することが不可欠であると考えております。

- ・ 経営上の意思決定と効率的な業務執行が明確な区分をもって行われ、責任の所在が明らかであること
- ・ 適切な内部統制システムが構築され、運用されていること
- ・ 株主と利益相反のない独立役員が相当数選任され、経営監視機能の客観性及び中立性が確保されていること
- ・ 企業倫理とコンプライアンスの実践が組織の社会的公平性を支え、すべてのステークホルダーの皆様から

の信頼と期待に応える基本である、という認識が企業文化として全従業員によって共有されていること

- ・ 株主をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様に対し、適正、公平、適時かつ明瞭に企業情報の開示が行われ、取締役会及び監査等委員会によるアカウンタビリティが確保されていること

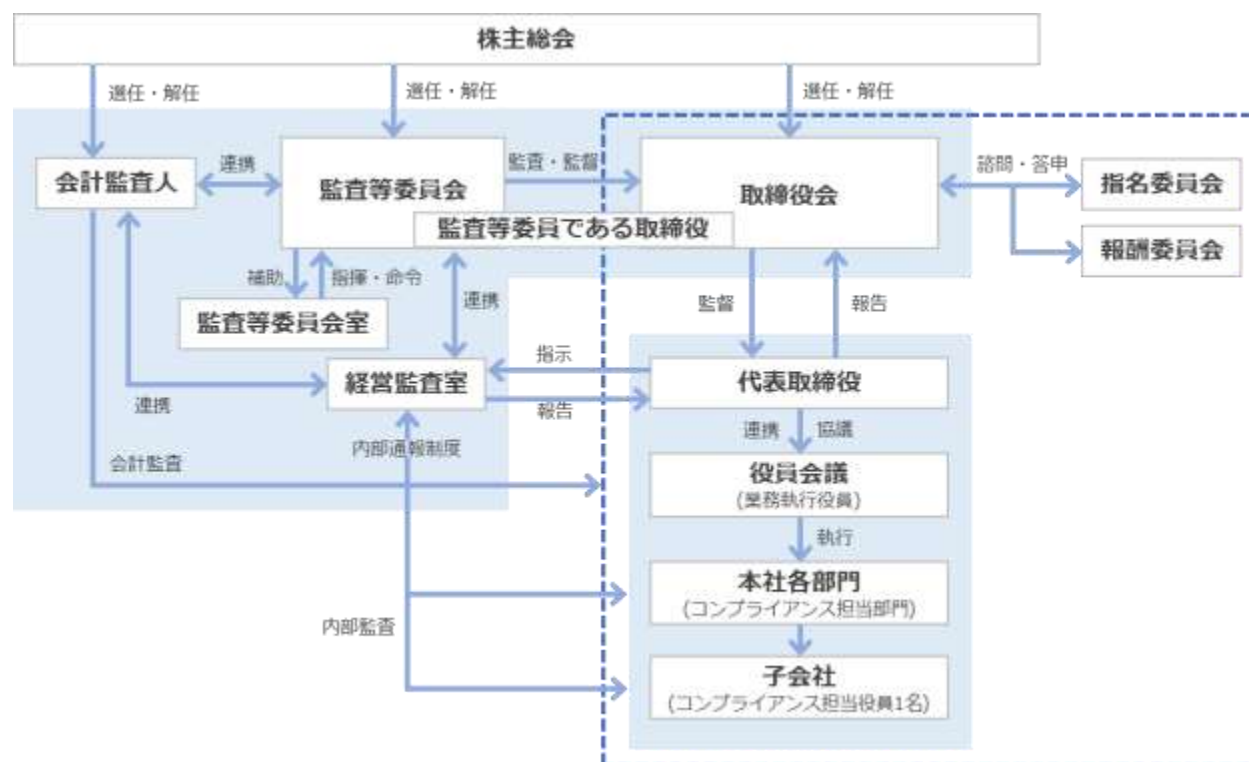
体制・システムの構築

マブチグループは、2019年3月28日付で監査等委員会設置会社へ移行しました。会社法に規定されている会社の機関（独立役員を含む）、会計監査人などが、それぞれ法令に基づく機能を果たし、加えて当社独自で設置する役員会議、経営監査室（内部監査部門）、指名委員会、報酬委員会、その他の業務執行や内部牽制に係る組織による体制とシステムを構築し運営しています。

海外拠点においても、それぞれの国の法令などに基づく機関や当社の内部組織によって内部統制が実施されています。グループ経営ビジョンを通してグローバルに企業文化や価値観を共有するとともに、海外拠点経営者会議をはじめとするマブチグループ全体の会議の開催や、経営監査室による海外拠点の業務監査の実施などにより、内部統制機能の向上に努めています。

コーポレートガバナンス体制（模式図）

（2019年3月29日現在）



コンプライアンス

法令遵守や企業倫理の維持は、企業としての社会的義務であると同時に、企業が存続・発展していくための経営の根幹です。社員一人ひとりが理解して遵守すべく、コンプライアンス体制を強化しています。

マブチモーター倫理規範

マブチグループは、『国際社会への貢献とその継続的拡大』を経営理念に掲げ、その実現に向けた企業活動を行っていますが、この実現にあたっては、各国の法規制を守ることはもちろんのこと、社会から求められる企業倫理に沿った活動を行うことが大前提であると考えています。そこで、「マブチモーター倫理規範」を制定し、すべての役員・社員が守るべき法令等の社会ルールを具体的に示し、その浸透を図ってまいりました。これら活動の一層の周知を図ることを目的に、すべての役員・社員に小冊子にして配付しています。

海外生産拠点をはじめとして、必要とされるコンプライアンス教育活動を継続しており、今後も、法規制及び社会規範の遵守に関する様々な説明会や研修を実施し、コンプライアンス経営の確立を目指しています。

マブチグループ全拠点に設置されたコンプライアンス担当役員は、本社の内部統制担当役員による統括の下、それぞれの拠点における責任者として、拠点内の内部統制の強化と自律的かつ継続的なコンプライアンス活動の推進に関する中心的な役割を担っています。

内部監査部門は、これらコンプライアンスに関する業務遂行の不備などの継続的な是正・改善を目的として、マブチグループ全体のコンプライアンスに関するルールや手順の遵守状況、その他の倫理に反する行為について、定期・不定期に監査を行い、その結果を経営トップに報告しています。

倫理規範ホットライン

コンプライアンスに関する情報の伝達や相談について、通常のルート（上司や組織部門の窓口など）とは別に、内部監査部門が管理する、匿名性が担保された「倫理規範ホットライン」を設置しています。

マブチグループは、お取引先様とも日頃から誠実で公正なお取引と相互信頼関係の構築に努めており、問題発生 の未然防止並びに拡大防止体制を強化するために、「倫理規範ホットライン」の対象範囲を、社員のみならずお取引先様の一部に拡大しています。

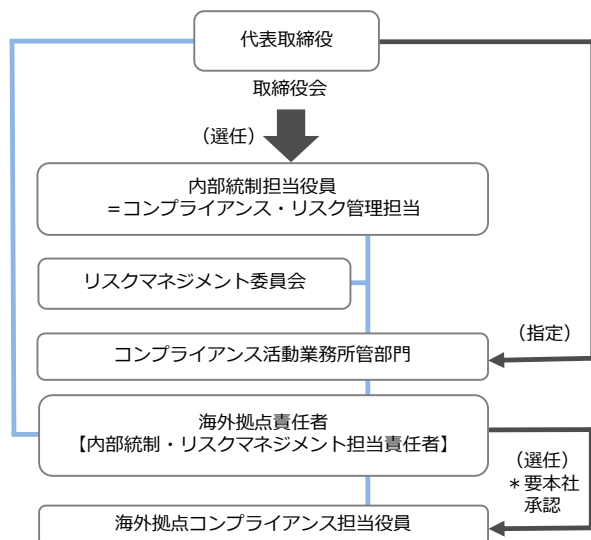
また、公益通報者保護法を遵守し、相談者の不利益を発生させないことを約束するトップメッセージを発信しています。

【倫理規範基本方針】



1. マブチグループのすべての役員・社員は、会社の利益や業務に優先して、会社所在国・地域の法令・条例・規則及び国際ルールを守ります。
2. お取引先様をはじめ、株主・投資家様、地域社会など広範な利害関係者への責任を十分認識し、社会倫理に反する行為を厳に慎みます。
3. 法規制、社会倫理の中でも特に注意を要する事項に関しては、規程類などに明確に記載し、周知徹底を図ります。そして、すべての役員・社員は、これらを誠実に守ります。

コンプライアンス体制



リスクマネジメント

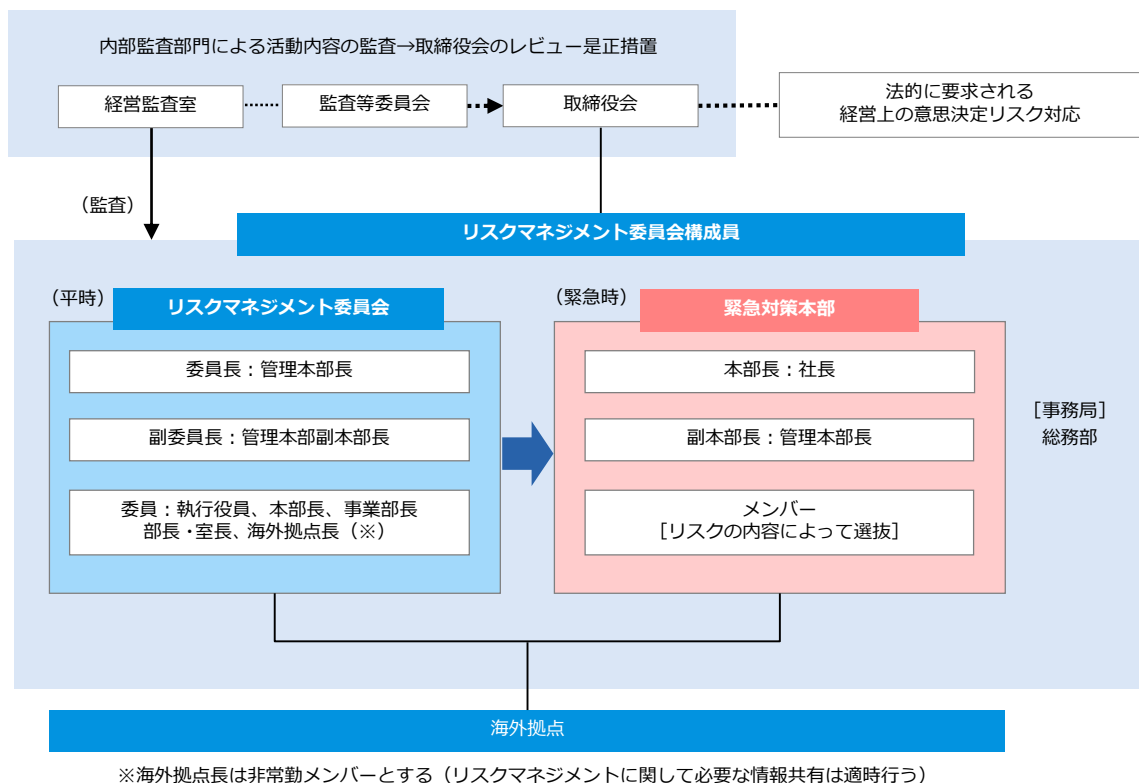
グローバルな事業活動を遂行し永続的な成長軌道を確実なものにするため、多様化する事業活動上の様々なリスクの軽減・最小化を図るべく、リスクマネジメントの充実・強化に取り組んでいます。

リスクマネジメント体制

リスク発生の未然防止及び、万が一リスクが発生した場合の損害の最小化を目的として「リスクマネジメント委員会」を設置しています。マブチグループ

全体として最適な対応を可能とする体制を確立するとともに、この体制をベースに、緊急時における対応・方針・各種マニュアルなども整備しています。

リスクマネジメント委員会の位置づけ



考えられるリスク

【外的要因】

自然災害、社会犯罪、国際・政治情勢、及び金利・通貨・資材価格などのマーケット流動性リスク

など

【内的要因】

製品品質・安全性、コンプライアンス、情報通信システム、知的財産権、労災、設備災害、環境、労務、人権、風評、サプライヤー、サプライチェーン

など

リスクマネジメント委員会の対応

- ① 人命（安全）確保
 - ② コンプライアンス
 - ③ 情報セキュリティ
 - ④ 生産・供給停止
- に分類・特定

それぞれリーダー部門を決め、経営陣と関連幹部社員で連携を図りながら、マブチグループ全体のリスク対策活動を継続的に実行する

緊急事態発生時の対応訓練

災害等緊急事態発生時の安全確保や環境汚染の予防・拡大防止のため、各業務の特性に合わせて様々なケースを想定した緊急時の処置・通報訓練を実施しています。

マブチグループは、「管理職の初期行動・指示マニュアル」、「災害時一般社員行動マニュアル」の作成、「大規模災害発生時緊急対応カード」の配付、及び「安否確認システム（本社全社員対象）」の導入などを行うとともに、緊急対策本部をはじめ、災害時に重要な役割を担う部門においてそれぞれ対応マニュアルを策定しています。また、防災教育や各種訓練（避難・通報・消火、救急救護、安否確認、及び帰宅報告ほか）を定期的を実施し、全社員が落ち着いて適切な行動をとることができるように努めています。



更に、災害時に必要な備品・資機材や飲食料、生活用品を備蓄し、災害発生時の安全確保や帰宅困難者に対する備えにも万全を期しています。特に、地下水を飲料水として使用している本社は、断水時にも相当量の飲料水が確保できることから、松戸市と給水協定を締結し、地域に対する給水支援を行う準備もしています。



大規模災害発生時緊急対応カード

備品・資機材や飲食料などの備え（本社）

- 災害時優先電話を本社屋に2回線常備
- 停電時を想定した連絡手段として、災害用PHS
- 停電時の対策として、緊急対策本部運営及びコンピューターシステム保護のため、必要な自家発電装置、燃料、及び仮設トイレ
- 緊急避難時に必要なヘルメット
- 帰宅者に配付する飲料水
- 帰宅困難者の発生に備えて、3日間生活できる分量の飲食料及びトイレ用水
- 設備・什器・備品などの転倒防止策
- 設備・什器・備品などの復旧または応急措置、被災社員の支援、地域社会に対する支援を目的とする機器・機材

など

企業活動を地震から守るための免震構造（本社）

免震アイソレーターの設置やフレキシブルジョイントなどにより、震度7クラスの大地震に対しても室内環境への被害を受けません。

情報セキュリティポリシー

マブチグループは、保有する情報資産の管理及び情報セキュリティ管理を適切に行い、情報の漏洩・改ざん・滅失・盗難などを防止することが、企業の社会的責務の一つであると認識し、「情報セキュリティポリシー」を定め、役員を含めたすべての社員が情報セキュリティの必要性及び責任について理解を深め、情報セキュリティの確保に万全を期しています。

個人情報保護方針

マブチグループは、個人を識別し得る情報（以下「個人情報」）を適切に取り扱い、保護することを重要な責務であると認識し、「個人情報保護方針」に基づき個人情報の保護に努めます。

地域支援活動

マブチグループは、地域に根ざした環境保護、社会福祉活動などを継続的に実施しています。

地域社会との共生

本社敷地内には、「地域社会との共生」をコンセプトの一つとして、ビオガーデンを設けており、なだらかに流れる水景と野原には、渡り鳥が毎年訪れます。築15年を経た現在でも、周囲の緑との調和に努めた植栽管理を行い、生物多様性の保全に配慮した地域特有の植生や、外来種の排除などを含めて、地域環境の向上に貢献しています。



(本社)

地域支援

マブチグループでは、児童養護施設や老人ホームへの慰問活動や寄付活動を継続的に実施しています。2018年はアメリカマブチの社員たちが寄付金を出し合い、経済的な支援が必要なご家庭にクリスマスプレゼントを贈りました。



寄付活動（大連マブチ・高雄マブチ・ダナンマブチ・アメリカマブチ）

植林・美化・清掃活動

地域の美化・清掃活動を継続して行っています。



清掃活動（路東マブチ・高雄マブチ・大連マブチ）

献血活動

マブチグループは本社をはじめ海外拠点においても積極的に献血活動に協力しています。本社は赤十字社より毎年感謝状をいただいています。



献血活動（台湾マブチ）

ものづくり・教育に対する 支援活動

地域社会・国際社会への支援活動に力を入れる中で、特に未来を担う学生・子供たちに「ものづくり」や「理科」の楽しさを伝え、成長をお手伝いする活動に力を入れています。

ロボットコンテストへの協賛

未来を担う若き技術者の育成と科学技術の発展に寄与できることを願い、「高専ロボコン」、「A B Uロボコン」、「学生ロボコン」に協賛し、大会運営支援やモーターの提供などを継続して行っています。



高専ロボコン



A B Uロボコン

モーター支援

学生ロボコン及び高専ロボコンへのモーター支援は、累計で24,000個を超えています。

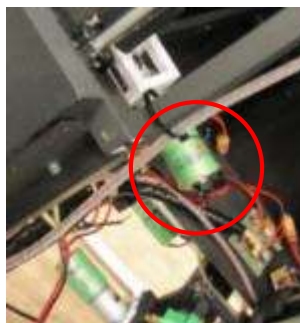


ギアヘッド付RS-555VC (上)
ギアヘッド付RS-385PH (下)



JC/LC-578VA

ほか



子供たちに「理科」の楽しさを伝えています

出前授業

毎年、本社社員による理科出前授業を所在地域（千葉県・松戸市）の小学校を対象に実施しています。独自に開発した理科教材を用いた授業を受けた子供たちからは、「モーターの部品を手にとり、磁石の実験をしたことなどで理科が楽しくなった」と感想をいただいています。



地元小学校での出前授業（本社）

科学技術館での展示、イベント実施

科学技術館（東京都・千代田区）にて常設展示を行い、モーターの基本原理や、暮らしの中で活躍しているモーターとモーターを使った工作などをわかりやすく紹介しています。また、毎年秋に同館との共催で、理科実験教室を開催しています。



科学技術館での理科実験教室（本社）

職場体験・会社見学

本社では、地域小学校のキャリア教育の一環で行われている職場体験を受け入れています。また、海外拠点でも社員の家族や地域の児童を招待する職場見学会を実施しています。



小学生の見学（本社）



社員家族見学会
（江蘇マブチ）

海外拠点の教育支援

書籍や筆記用具といった学習用品の寄付を行うなど、将来を担う子供たちへの教育支援を継続的に行っています。



（瓦房店マブチ）

柏レイソルアカデミーへの協賛支援

本社は、地域社会貢献活動の一環として、プロサッカーチーム柏レイソルの選手育成組織である柏レイソルアカデミーとユニフォームスポンサー契約を締結し、青少年の育成を支援しています。



インターンシップ制度

これから社会に出ていく学生に就業体験の機会を提供して、働くことを実感するとともに、マブチグループの考え方を理解していただくため、国内外の学生のインターンシップを継続して受け入れています。



子供たちとともに「ものづくり」を楽しんでいます

夏休み工作教室

本社では、所在地域（千葉県・松戸市）の小学4～6年生の児童を対象に「夏休み親子モーター工作教室」を毎年開催しています。多くの子供たちにもものづくりの楽しさを体感していただくこの工作教室を、今後も継続して行います。



工作用モーター

木工工作イベント

夏休み以外にも、5月に開催された静岡ホビーショー、8月末には千葉県立現代産業科学館にて、モーターを使用した木工工作を楽しんでいただきました。



静岡ホビーショー
工作イベント

働きがいのある職場づくり

経営基軸の一つである「人を最も重要な経営資源と位置づけ、仕事を通じて人を活かし、社会に役立つ人を育てる」という考えのもと、社員一人ひとりが自己実現、自己成長することができ、働きがいを感じられる職場づくりに取り組んでいます。

ワーク・ライフ・バランス

社員がやりがいや充実感を持ちながら働くとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期・中高年期といった人生の各時期に応じた働きやすい環境づくりを推進しています。

法令を上回る内容の育児休業期間設定及び子育て中の社員の時短制度の導入などをはじめとするファミリー・フレンドリー施策を推進し、千葉県の「社員いきいき！元気な会社宣言」にも参加しています。

千葉労働局より、次世代育成支援対策推進法に基づく「基準適合一般事業主」として認定を受け、次世代認定マーク「くるみん」も取得しています。



働きやすい環境づくりにむけて

- ・育児休業（3年）・介護休業（1年）
- ・育児・介護休業中の自己啓発支援
- ・配偶者出産時休暇制度：取得率100%
- ・不妊治療のための低利融資制度
- ・育児・介護のための勤務時間短縮や所定外労働免除などの措置の導入
- ・有給休暇取得促進
- ・福利厚生施設の充実
- ・テレワーク制度

など

障がい者雇用促進

マブチグループは、障がいのある方もない方も同様に、個人の能力と適性に応じた雇用の場に就き、地域で自立した生活を送ることができる社会の実現を目指し、障がい者雇用を促進しています。

心と身体の健康への取り組み

社員の心と身体が健康でいきいきと働くことは、社会生活の基礎であり、企業の活力向上にもつながると考え、本社では20年以上前からメンタルヘルス調査を実施するとともに、社内カウンセラーの設置や「メンタルヘルス講習会」の開催をしています。2018年度は社内報にて社外カウンセラーによる特集記事を掲載し、社員へ「心の健康」について説明しました。

労働者のための企業表彰

大連マブチは30年以上にわたり、社会・医療保険に関する取り組みを継続して遂行したことを評価され、大連市人力資源和社会保障局から表彰されました。



人事評価制度・自己申告制度

マブチグループの人事評価制度は、様々な役割を果たす社員一人ひとりの貢献を的確に把握し、会社と社員がともに成長することを目指しています。この制度はマネジメントツールとしてだけでなく、人材育成ツールとしても積極的に活用されています。

加えて、社員一人ひとりのやる気と能力を引き出し活用するためには、「適材適所」と「職場風土の醸成」が重要と考え、社員の職務に対する意識の把握を目的とし、定期的に社員の自己申告を実施しています。

裁量労働制

本社では、一定の基準を満たす社員に対し、上司の推薦と本人の同意を得た場合に限り、裁量労働制を適用しております。各部門毎に適用対象業務を設定し、従来の時間で働く労働形態とは異なった働き方の選択が可能です。

社員表彰制度

マブチグループ全社員に対して、功績、営業活動及び改善提案活動を表彰しています。業務だけでなく社会人として模範となる活動や、地域社会に貢献した社員にも表彰を授与し栄誉を称えています。



健康増進の日

社員の生活習慣病の予防・改善を目的として、毎月第2水曜日及び最終金曜日を「健康増進の日」に設定し、次のような取り組みを行っています。

- ・食事の量やバランスが整ったメニューで食生活を改善
- ・歩くことから始める健康づくり（本社に3基あるエレベーターの稼働を1つに絞り階段利用を促進）
- ・心身ともに十分な休養をとる（健康増進の日は17時までに退勤を奨励）
- ・禁煙と休肝日の習慣づけ推進



社員食堂の野菜たっぷりヘルシープレート



教育支援・資格取得奨励制度

英語学習支援

社員がグローバルに活躍できるよう、語学（特に英語）を学習する風土づくりとして、以下の施策を行っています。

- ・ TOEIC・CASEC受験の機会提供
- ・ TOEIC対策講座の開催
- ・ オンライン英会話システム利用の機会提供
- ・ 短期留学制度
- ・ トレーニー制度 など

資格取得奨励制度

本社では、「自ら学ぶ風土」を醸成し、業務遂行に役立つ知識を幅広く習得することを目的として、「資格取得奨励制度」を設け、自己啓発を促進しています。また、「マブチビジネススクール」（通信教育）を毎年2回開講し、受講修了者にはその費用を助成することで、多くの社員が自由に積極的に学べる風土を醸成しています。

多目的自習室SAL、図書コーナーBIBLIO

本社では、語学や資格取得など、個人の目標・レベルに合わせた学習や、グループディスカッションに利用可能な「多目的自習室（社内呼称SAL）」を社内に設置。社員各自が業務前後や休み時間などを活用して自己啓発に役立てています。

同様に社員の学習する姿勢をサポートすることを目的として、社内に図書スペース（社内呼称BIBLIO）を設置。社員が自由に名著を借りることができます。



食堂前で毎月おすすめの本を紹介



研修制度

マブチグループでは、研修制度を、社員が自律性を持ち自ら学び成長していくためのプロセスの一つと位置づけています。役員から新入社員までの各階層を対象に、多様な視点で研修を行っています。2018年は、女性ならではのライフイベントとその後の働き方をディスカッションする研修も開講しました。



技能競技会

マブチグループでは、生産拠点代表者が一堂に集まり、技能競技会を開催しています。本社をはじめそれぞれの拠点内でも、同種の競技会を開催し、社員同士が切磋琢磨して技術の向上に取り組んでいます。



技能競技会（本社）

社員や家族が楽しめるイベントの開催

本社

社員のコミュニケーションの円滑化と一体感の醸成を目的に、ガーデンパーティーや所属対抗ボウリング大会など様々なイベントを行っています。



ボウリング大会



ガーデンパーティー

海外拠点

社員が参加できるスポーツ大会や社員旅行、文化祭などのイベントを定期的の実施しています。

大連マブチでは、2018年12月に大連スポーツ連盟主催のスポーツイベントに出場。3人制サッカーにおいて5位入賞を果たしました。



中国内のマブチグループ全拠点からそれぞれ代表選手を選出し、広東省東莞市にてバトミントン大会を開催しました。



ヨーロッパマブチは、マラソン大会にチームとして毎年参加しています。



環境マネジメント

本社及び生産拠点で「環境マネジメントシステムISO14001」の認証を取得しています。マブチグループ全体及び、本社・各拠点・各部門などそれぞれにおいて環境目標を設定し、徹底したP D C A管理を行い、積極的に環境マネジメントに取り組んでいます。

環境マネジメントシステムの構築

環境管理責任者は、マブチグループ全体の環境マネジメントシステムを管理しています。本社では「環境管理委員会」を設置し、環境管理責任者が委員長となり、本部長・部長・室長で構成されたメンバーが、マブチグループの環境方針、環境目標、施策などの審議、決定を行います。また、環境管理委員会の下には、化学物質専門部会、省エネルギー専門部会を設け、それぞれ専門的な施策を提案し環境保全活動を推進しています。

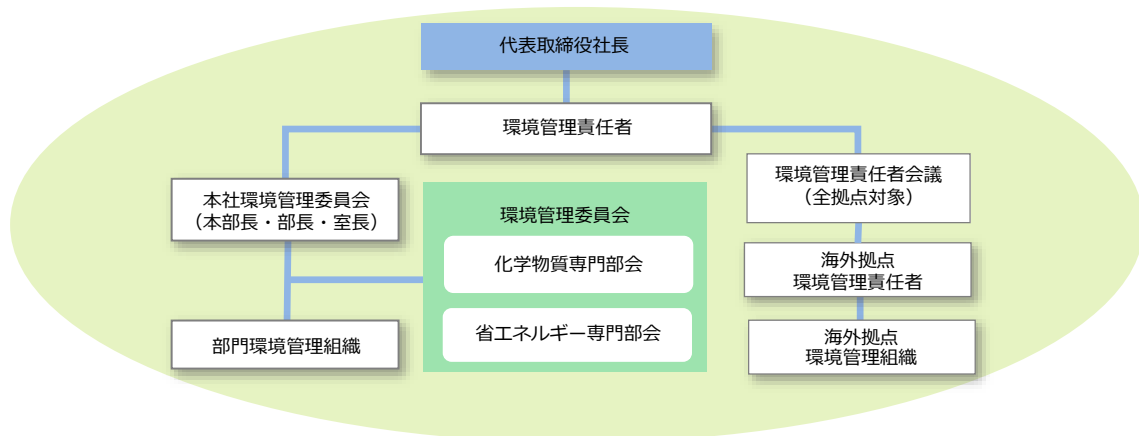
環境監査

マブチグループの環境マネジメントシステムが、ISO規格の要求と合致しているか、有効に運営されているかについて、審査登録機関（第三者）及び社内の監査部門により定期的な監査を行っています。これらの監査を通じて、環境管理レベルの継続的な維持・向上を図っています。



内部環境監査（本社）

環境管理組織図



マブチグループ環境方針

私たちは、地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行い、環境マネジメントシステムを通じて継続的改善に努め、持続可能な社会を目指します。

- 環境関連の法規制及びその他の要求事項を遵守するとともに、環境汚染の予防・防止に努め、事業活動が環境に与える影響を常に認識し、自主基準を設定して管理します。
- 事業活動に伴う主要な環境負荷を軽減するため、以下について重点的に取り組みます。
 - C O₂の削減と限りある資源を有効活用するために、省エネルギー、省資源化、リサイクル及び廃棄物の減量化に積極的に取り組みます。
 - 製品及び製造過程において、環境負荷物質の管理を徹底し、環境に負荷を与える物質は可能な限り代替物質への転換を行います。
 - 環境に配慮した部品・材料を積極的に使用する“グリーン調達”を行います。
 - 生物多様性の保全を企業の重要な課題と認識し、生態系に配慮した取り組みを推進します。
- 従業員一人ひとりの環境に対する意識の高揚を図るため、積極的に教育活動を行います。
- この環境方針は、全従業員に周知するとともに、社外に公表します。

マブチモーター株式会社
代表取締役社長 CEO

大越博雄

制定： 1998年9月27日 改訂： 2013年3月28日

グリーン調達

製品の原材料・部品などをお取引先様から調達する際に、法令・規制、及びお客様要求に加え、マブチグループ独自の基準を設け、これらに定められた環境禁止物質について厳格に管理運用を行い、環境負荷の少ない部材を優先的に使用しています。

グリーン調達の推進

原材料の資源採取から、製造・加工、流通・販売、消費・使用、及び廃棄・リサイクルにいたる製品ライフサイクルにおいて、環境負荷の少ない製品の開発に取り組むためには、自社だけの環境保全活動では十分とは言えません。そこで、お取引先様の各種環境への取り組み状況も評価し、お取引先様とともに、環境負荷の低減や環境リスクの回避を図っています。

下図のように、お取引先様には、グリーン調達活動を実施のうえ、環境活動調査表とともに、原材料・部品に環境禁止物質が含まれないことを保証する書類を提出いただき、お取引先様の環境負荷物質の使用・保管状況を確認するための環境監査も積極的に実施しています。更に、マブチグループで使用している全部材について、環境禁止物質が含まれていないかの分析調査も定期的に行っています。

各種法令の遵守

欧州RoHS指令、欧州ELV指令、欧州REACH規則制限物質・SVHC(高懸念物質)、日本の化審法*第一種特定化学物質、GADSL(自動車業界自主基準)、その他の法規制、お客様からの要求、マブチグループ自主基準などによる、規制物質の追加、禁止ランク変更など、将来を見据えた対応を行っています。

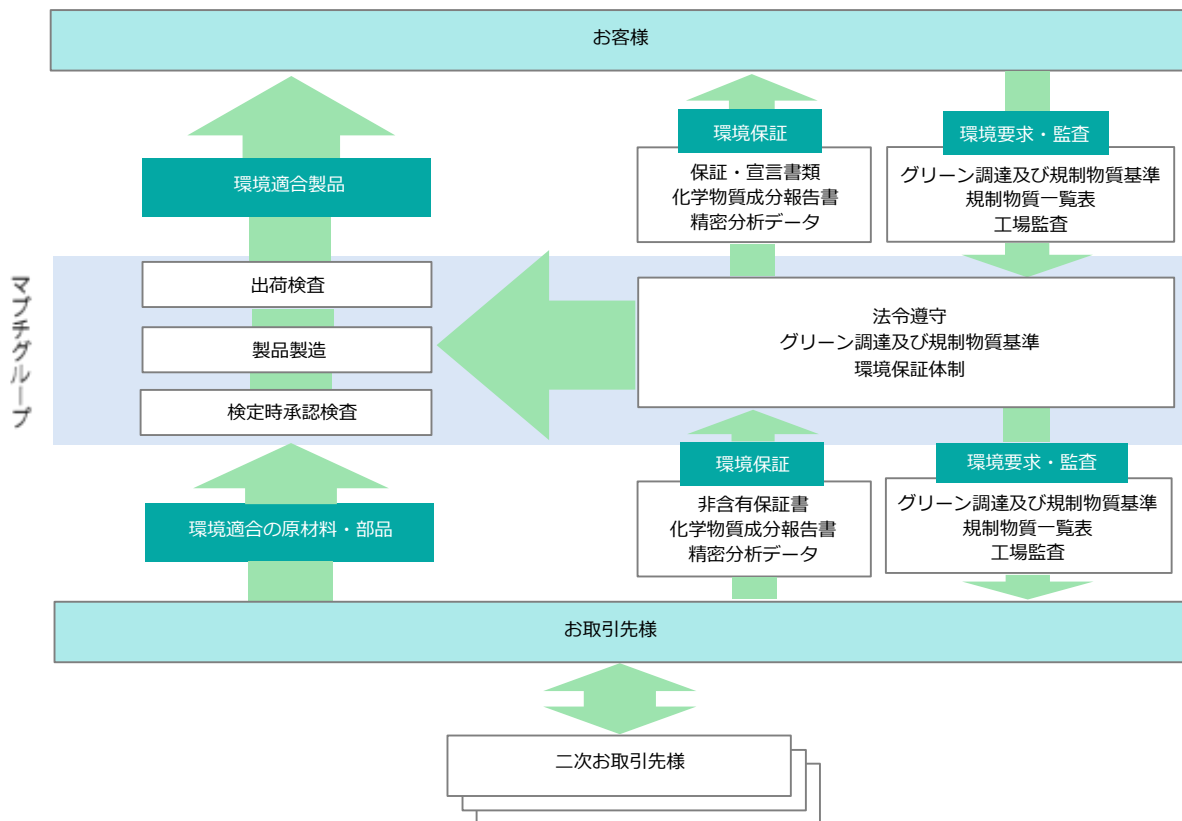
また、武装勢力の資金源となっている紛争鉱物の不使用をお取引先様にも要請し、部材調達に関する紛争鉱物調査の結果をお客様に回答しています。

日常のお取引先様とのコミュニケーションや、環境負荷物質の使用・保管状況の監査活動に対する積極的な取り組みにより、2006年の欧州RoHS指令の施行から現在に至るまで、環境事故は一度も発生しておりません。

今後も、お客様、お取引先様とともにグリーン調達活動を進めてまいります。

*化審法…化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

グリーン調達フローチャート



環境コミュニケーション

環境への取り組みに関する考え方や、環境マネジメント活動の情報を社内外に発信して社員の環境意識を高めるとともに、広く社会の皆様にも、マブチグループの環境保全への姿勢と取り組みへのご理解をいただいております。

社会・環境報告書の発行 及びホームページによる環境情報発信

ホームページ上で公開している「社会・環境報告書」を通して、マブチグループの社会的責任を果たす姿勢や状況についてご説明し、皆様とのコミュニケーションを更に充実させてまいります。

グループ内環境コミュニケーション活動の展開

マブチグループ全体で、環境情報の共有化により、環境保全活動を効率的に行うことを目的として、本社及び海外生産拠点の環境管理責任者で構成される「環境管理責任者会議」を毎年開催しています。また、社内イントラネット上に「ECOLOG」と呼ぶ環境情報を集約したデータベースを作成し、社員間で様々な環境情報を共有し活用しています。その他、環境対応の現状や、最新の環境情報を社内報に掲載して社員の環境意識の向上を図っています。



当社ホームページと
社会環境報告書



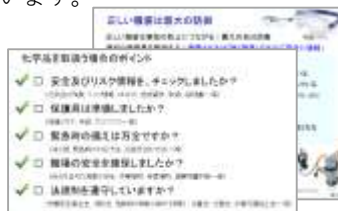
「環境管理責任者会議」
拠点とテレビ会議を結んで開催

環境教育

社員の環境に関する意識の向上を図るために、階層別、目的別の環境教育を実施しています。



廃棄物分別教育



化学物質取り扱い教育資料

環境を考える標語・ポスター作品コンテスト

社員の環境意識の向上を図るために、マブチグループ全体で「環境を考える標語・ポスター作品コンテスト」を毎年開催しています。本社及び海外拠点から、1次審査ではトータル1万点を超える応募がある中、2次審査へ約100点の作品が進み、その中から選ばれた受賞作品を本社食堂に展示し、環境意識をより一層高めました。

【標語部門 1位】

「轻量化、节约化、零不良化、追求资源效益最大化，
万宝至永不止步。」

(轻量化、省略化、不良ゼロ化、資源効率最大化、マブチはその歩みを止めない)

【環境ポスター部門 1位】



【同 2位】 (2作品)



安全啓蒙ポスター作品コンテスト

2018年より新たに「安全啓蒙ポスター作品コンテスト」を開催しました。労働災害への注意喚起をテーマに、本社及び海外拠点より一次審査を通過した55作品の中から最終審査を行い、14点が受賞作品としてイントラネット上に掲示されています。労働災害の無い安全で快適な職場づくりを呼びかけ、本社及び生産拠点の労災予防に役立つ取り組みとなりました。

【安全啓蒙ポスター 1位】



【同 2位】 (2作品)



環境の歩み

1993年	「経営基軸」において「地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行う」ことを明文化	2004年	最新の省エネ技術を用いた本社新社屋竣工
1997年	環境問題への具体的対応を図るため、「環境管理委員会」を設置	2006年	全製品を、欧州RoHS／ELV指令適合品に切り替え。海外生産拠点で「グリーン調達説明会」を開催
1998年	マブチグループの「環境基本方針」を制定	2008年	「環境報告書」を「社会・環境報告書」に変更（社会的な取り組みについても掲載）
1999年	ISO14001の認証取得	2012年	環境基本方針を「マブチグループ環境方針」に改訂
2000年	グリーン調達活動開始。モーターのカドミウムフリー化代替材選定評価完了	2015年	環境に配慮した新工場「メキシコマブチ」を竣工
2001年	「環境報告書」の発行を開始 はんだの鉛フリー化量産準備完了	2018年	環境に配慮した新工場「ポーランドマブチ」を竣工
2002年	六価クロムフリーモーターのサンプル出荷開始	2018年	「メキシコマブチ」にて、ISO14001の認証取得

環境データ

	単位	2014	2015	2016	2017	2018
購入電力量	(万kWh)	17,331	18,388	17,718	19,842	19,902
CO ₂ 排出量	(t - CO ₂)	85,860	88,196	93,635	98,529	98,275
最終廃棄物量	(t)	1,503	1,273	1,297	1,381	1,494
水使用量	(千m ³)	886	815	816	814	796
石炭使用量	(t)	1,650	0	0	0	0

当データは本社及び主な海外生産拠点のデータを元に計算しています。

発行：2019年5月
＜お問い合わせ先＞
マブチモーター株式会社
管理本部 総務部
〒270-2280
千葉県松戸市松飛台430
TEL：047-710-1111